

子どもたちが輝く授業づくり

— 教師の一日の仕事の中で —



潮来市立日の出中学校

平成27年12月5日
潮来市立日の出中学校
本宮 博美

今、生きる力が求められている！

平成20年に改訂された学習指導要領の
理念である「生きる力」とは？



知・徳・体の
バランスのとれた力のこと

知・徳・体の中の、とりわけ「**知**」については、

基礎的な知識・技能を習得し、
それらを活用して、自ら考え、判断し、
表現することにより、
さまざまな問題に積極的に対応し、
解決する力

として示されている

これは、学校教育法第30条に示された**学力の三要素**

- 基礎的な知識・技能を習得させる
- これらを活用して課題を解決する
ために必要な思考力・判断力・表
現力、その他の能力をはぐくむ
- 主体的に学習に取り組む態度を養う

学力の三要素から構成される「**確かな学力**」

この「**確かな学力**」をバランスよく育
てることを目指して、学級やグループ
で話し合うこと、発表し合うことなど
の言語活動や、各教科等における探究
的な学習活動等を重視すること

学力に関する各種の調査結果に共通する
日本の子どもたちの課題

- 判断の根拠や理由を示しながら、
自分の考えを述べること
- 自己肯定感や学習意欲、社会参画
の意識等が国際的に見て低いこと
- 子どもの自信を育み、能力を引き
出すことができていないこと 等

子どもたちの課題の解決のためには？

- 基礎的な知識・技能を習得させる
- それらの力を活用しながら，自ら課題を発見し，解決に向けて主体的・協働的に探究して，学びの成果等を表現し，実践する
- 思考力・判断力・表現力をはぐくむ

まさにこれは，**学力の三要素**

日の出中学校の取り組み

関わりを深め，
思考力・判断力・表現力を
はぐくむ学習指導

- 明確な発問・指示の工夫
- 教材・教具の活用

関わり合いを深める

個の学びと集団での関わりの中の学びが
あってこそ，生徒の学びは高まる！

だから，

- 教材のつながり
- 人のつながり
- 能力・態度のつながり

を大切にした。

関わり合いを深める

関わり合いを深めることによって，
生徒が**主体的に**，互いに**協力しながら**
工夫して話し合い活動や発信の活動
に取り組み，結果として，生徒の**思考力・判断力・表現力等**が向上する
ようになってきた。

思考力・判断力・表現力をはぐくむ

習得した基礎的・基本的な知識・技能を活用して，課題を解決するために必要な力が，
思考力・判断力・表現力である。

思考力・判断力・表現力をはぐくむ

21世紀型能力

国立教育政策研究所2013資料より

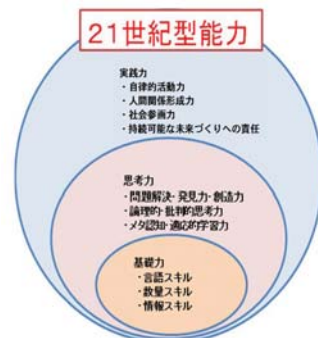


図9 21世紀型能力

明確な発問・指示の工夫

教師の授業における言葉、「発問」「指示」「説明」の言葉の役割をつかみ、教材の性格と子供の状況に応じて使いこなせるようにすることが必要

生徒の行動に、はたらきかける**指示**

- 簡明の原則・・・短く限定して述べる
- 全員の原則・・・指示は全員に
- 空白禁止の原則・・・たとえ一人の子どもでも空白の時間を作らない

教材・教具の活用

生徒の思考を発展させるための**教材・教具**の活用

- 教科書 ○資料集 ○掛図 ○黒板 ○写真
- 標本・模型 ○実験機器 ○運動用具 ○絵
- 視聴覚教育機器 ○コンピュータ ○ICT
- 新聞、プリント ○実物

日の出中学校の研究スタイル

KJ法的手法を用いたワークショップ型協議の実行
概念化シートを用いたKJ法的手法によるワークショップ型協議



日の出中学校の研究スタイル

研究授業（一人一研究授業における）の**リレー研修**の実施



研究授業後の協議で、各グループで授業の「よかった点」と「改善点」を話し合い、それをもとに「**次回への課題**」を提案する。次の研究授業者は、この課題を受けて授業を組み立てるというリレー研修を実施することにしたこと。

日の出中学校の授業研究部の取組

定期的に出されている**研究だより**



研究協議を問題点の整理で終わりにせず、必ず解決策を明確にし、ワークショップの成果の共有化を図っている。

振り返りカードに記入した感想や授業の写真を**研究だより**に載せ、ワークショップ型研究協議の成果と課題の共有化を図っている。

日の出中学校の学習環境研究部の取組

家庭学習の手引きの活用による習慣化と**ノート展**



各階で**ノート展**を実施して、生徒の手本となる家庭学習のノートを掲示して、充実した家庭学習となるように啓発を図った。教師からのコメントも、次の学習につながる温かな励ましが見られる。

日の出中学校の調査研究部の取組

生徒の学習意識を調査し、実態把握に生かすアンケート

生徒の学習意識（関わり合い）と、各教科の「思考力・判断力・表現力を高めるための学習への取組」について調査して、その変容を見るために年2回のアンケートを実施して実態把握に生かしている。

ICT環境の整備

生徒の思考力・判断力・表現力をはぐくむ大きな効果

ICTを活用した授業では、「一斉学習」「個別学習」「協働学習」それぞれの学習場面が相互に組み合わされた学びの場が形成され、ICTの特長を生かすことでより分かりやすく理解が深まる授業の実現が可能となる。

ICT環境の整備

生徒の思考力・判断力・表現力をはぐくむ大きな効果



ICTの環境整備
 ア プロジェクターやコンピュータ
 イ 電子黒板
 ウ デジタル教科書



関わり合いを深め、思考力・判断力・表現力をはぐくむ学習指導
 - 明確な発問・指示の工夫と教材・教具の活用を通して -

○成果

- ・関わり合いを深める学習の展開は、生徒の思考力・判断力・表現力をはぐくむことにつながった。
- ・生徒の実態にあった明確な発問・指示の工夫をすることで、関わり合いが深まった。
- ・明確な発問・指示、具体物やICTの活用等の教材・教具を工夫することにより、生徒が主体的に学習に取り組んだ。

○課題

- ・学習内容の精選が十分でないと教師の説明が多くなり、生徒の活動時間が少なくなってしまった。
- ・ICTによる資料提示と印刷物等による資料提示では利点が異なるので、活用の方法を選択しなければならない。

アクティブ・ラーニングの充実を！

- 授業のはじめに、本時の課題を示し、
- 学習の見通しがもてる板書の工夫をし、
- 思考力・判断力・表現力を養いながら、
- 主体的・協働的に課題を発見・解決し、
- 授業の終わりに学習を振り返る時間を！

日頃から意識して取り組む。

授業後、身に付けさせたい力が付いた児童生徒の笑顔や姿を思い描いて、想像して、授業をしていきましょう！